

コンクリート蓄熱空調ビルシステムPART II (コアダ効果利用)



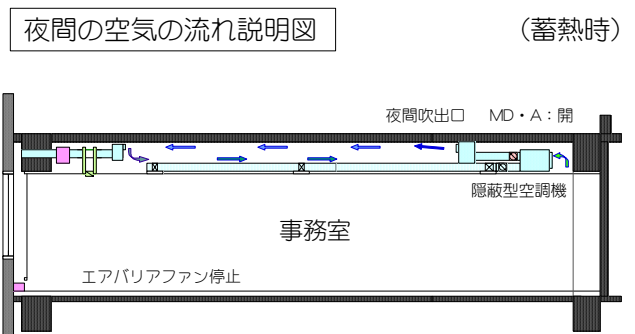
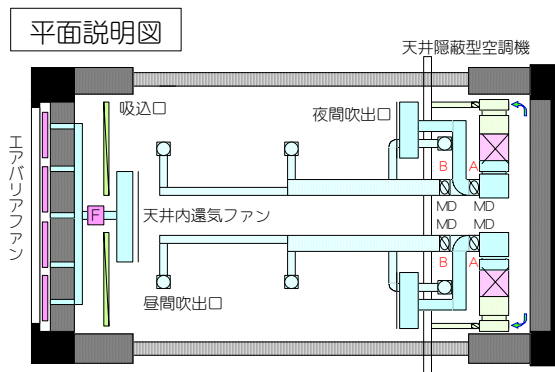
安価な夜間電力を利用して構造床スラブに蓄熱し利用する空調システム

お客様のメリット

- 空調ランニングコストを削減します。
- 夏期昼間電力負荷を平準化する環境に優しいシステムです。
- ペリメ-外排熱用エアリアファンとの併用により、快適で効率の良い空調を行います。

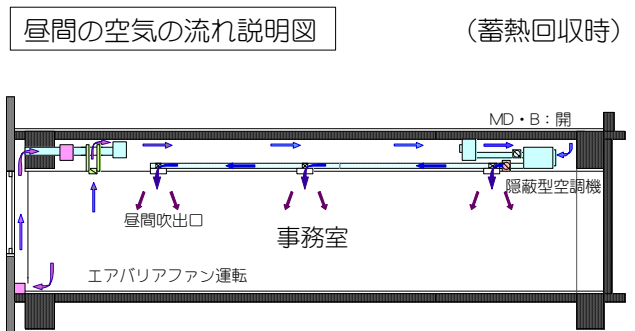
技術の特徴

■システム説明図



天井内に設置された空冷ヒートポンプパッケージ屋内機の吹出側のダクトを二方向に分岐させ、一方は夜間蓄熱用としてスラブ下面への吹出口に送り、もう一方は昼間の空調用として室内への吹出口に送る。

モーターダンパーの切り替えにより夜間の安い電気料金でスラブ（コンクリート躯体）に蓄熱し、昼間はそれを回収しつつ空調を行う。



※CSビーム工法：
RC構造の梁をS造としたハイブリッド構造

□特許出願済

実績・事例



■ Sビル (渋谷区)



■ Rビル (千代田区)



■ Mビル (名古屋市)